

みずほCustomer Desk Report 2019/05/10 号 (As of 2019/05/09)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	109.99 AUD/USD
TKY 9:00AM	110.04	1.1198	123.19	1.3010	0.6993
SYD-NY High	110.11	1.1251	123.26	1.3037	0.6998
SYD-NY Low	109.47	1.1174	122.49	1.2967	0.6965
NY 5:00 PM	109.77	1.1213	123.11	1.3004	0.6987
NY DOW	25,828.36	▲ 138.97	日本2年債	-0.1600	0.00bp
NASDAQ	7,910.59	▲ 32.73	日本10年債	-0.0500	0.00bp
S&P	2,870.72	▲ 8.70	米国2年債	2.2641	▲ 3.46bp
日経平均	21,402.13	▲ 200.46	米国5年債	2.2516	▲ 3.60bp
TOPIX	1,550.71	▲ 21.62	米国10年債	2.4512	▲ 3.32bp
シカゴ日経先物	21,340	▲ 205	独10年債	-0.0485	▲ 0.10bp
ロンドンFT	7,207.41	▲ 63.59	英10年債	1.1225	▲ 1.25bp
DAX	11,973.92	▲ 206.01	豪10年債	1.7210	▲ 1.90bp
ハンセン指数	28,311.07	▲ 692.13	USDJPY 1M Vol	7.00	0.55%
上海総合	2,850.95	▲ 42.80	USDJPY 3M Vol	6.94	0.34%
NY金	1,285.20	3.80	USDJPY 6M Vol	7.05	0.27%
WTI	61.70	▲ 0.42	USDJPY 1M 25RR	-1.98	Yen Call Over
CRB指数	179.01	▲ 0.74	EURJPY 3M Vol	7.58	0.20%
ドルインデックス	97.37	▲ 0.25	EURJPY 6M Vol	7.71	0.11%

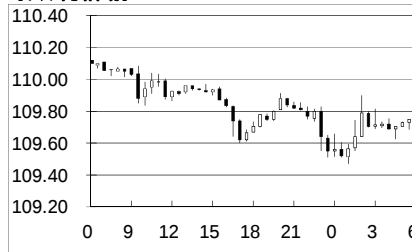
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
5月9日	21:30	米 PPI(前月比/前年比)	4月 0.2%/2.2%	0.3%/2.3%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 228k	220k
	22:45	米 ボスティック・アトランタ連銀総裁講演	「対中追加関税、インフレ加速の恐れ」	

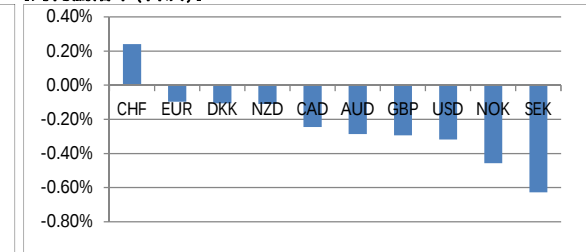
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
5月10日	08:50	日 対内・対外証券投資	-	-
	21:30	米 CPI(前月比/前年比)	4月 0.4%/2.1%	0.4%/1.9%
	21:30	米 コアCPI(前月比/前年比)	4月 0.2%/2.1%	0.1%/2.0%
	22:08	米 ボスティック・アトランタ連銀総裁講演		
	23:00	米 ウィリアムズ・ニューヨーク連銀総裁講演		

【ドル円相場】



【対円騰落率（日次）】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.00-110.00	1.1150-1.1250	122.80-124.30

【マーケットインプレッション】

110円台でオープンしたドル円は、米中貿易摩擦の影響から109円台後半へ下落しての推移となった。ロンドン時間に入っても、リスクオフが継続。海外時間では、109.47まで売られる場面も見られた。その後は米中協議への思惑と、米株式市場のきりかえしとともにドル円も反発した。本日のドル円は、米中協議の新たな材料待ちとなり、様子見姿勢が強まるだろう。日中は109円台半ばでの推移を想定。朝方発表される日銀による「主な意見」及び今夜の米CPIにも注目。

東京	東京時間のドル円は110.04レベルでオープン。トランプ米大統領の「中国が約束を破った」との発言を受けて、今晚からの米中通商協議に対する警戒感が強まり、リスクオフの円買いが優勢となったが、109円台では買い需要も見られ午後は下げ渋る展開。結局、109.87レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は109.87レベルでオープン。米中貿易摩擦への不確実性が高まり、リスクオフが広がる中、円買いが優勢となり、2月以來に109.60まで下値幅を拡大。しかし、その後は全体的なドル買いに転じ、結局109.82レベルでNYへ渡った。ポンドは1.3022レベルでオープン。英野党・労働党のコービン党首が今週の協議について「大した成果はまだ出ていない」との発言が報じられる中、売り・買いが交錯しながら上値を切り下げる推移となった。結局1.2994レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	NY市場のドル円は、109.82レベルでオープン。朝方は米新規失業保険申請件数や、3月貿易収支が予想範囲内の結果となる一方、米4月PPIが予想を下回ったが、ドル円の反応は限定的となる。その後は米金利低下を受けたドル売りや、リスク回避の動きから新興国通貨が対ユーロで売られているとの話もあり、ドル円は2/4以来のレベルである109.47まで下落する。その後はトランプ大統領が「習主席と電話会談する可能性がある」と発言し、この日のUSTRと中国副首相との会議が米国時間午後5時からスタートすることが明らかになり、大幅に下落していた株式市場が下げ渋る動きにドル買いが優勢となり、109.90まで戻す。午後は米中通商協議の流れを見極めたいとの見方から109.70付近での推移が続き、109.77レベルでクロスした。一方、米中通商協議に対する警戒からユーロ円が下落する動きに、ユーロドルも1.1174まで下落し、1.1190レベルでNYオープン。朝方はユーロが対新興国通貨で買い戻される動きに加え、ドル売りが強まったことから、1.1251まで急伸する。しかし前述のトランプ大統領の発言を受け、ドルが買い戻される展開に1.1212レベルまで反落する。午後は5時から開始される米中通商協議を控え、1.1220付近での狭いレンジでの推移が続き、1.1213でクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのご提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 原田・森谷